

年月日

24 05 21

ページ

03

N.O.

SMFL

SMFLの出資先が購入する
い巡航速度を誇る
大型機は、高購入する



エアバス製ヘリ21機購入

医療・災害救助向けリース

三井住友ファイナンス&リース(SMFL)は、出資先を通じて、欧エアバス傘下のエアバス・ヘリコプターズから最新世代のヘリコプター21機を取得する。購入額は400億~450億円規模とみられる。2028年までに順次納入される予定で、医療搬送や災害救助向けにリースする。今後もリース用ヘリコプターの需要が拡大するとみて、買い増す計画。30年までに保有・管理する機体を足元の2倍を超える350機程度まで増やす。

SMFLが出資する英LCIインベストメントとアイルランドのSMFL LCIヘリコプターズ(SMFL H)が、エアバス・ヘリコプターズの中型2機種と準大型1機種を購入する。捜索救難や医療搬送、洋上風力発電施設への人員・物資輸送などの活用を想定する。ヘリコプターガが他の輸送手段に比べて二酸化炭素(CO₂)排出量が少なく環境負荷が低いことなど

から、今後も需要が拡大するとして購入を決めた。19~30年にヘリコプターの需要が年平均3%程度で成長し、リースの利用比率も高まる」と予想する。

LCIとSMFLHは保有・管理するヘリ

コプターが約150機に上り、アイルランドのマイルストーン・アビエーション・グループに次ぐ世界2位に付けている。2月にはイタリアのレオナルドのヘリコプター21機を発注した。今後もエアバス・ヘリコプターズとレオナルドを中心に購入する方針。

LCIは2月、エアバスと次世代エアモビリティの実現に向けて二酸化炭素(CO₂)排出量が少なく環

境負荷が低いことなど

ると発表した。エアバスが開発を進める電動垂直離着陸機(eVTOL)での連携を強化する考え。SMFLは

20年にLCIと共同でSMFLHを設立し、ヘリコプターリース事業に参入。23年にはLCIにも出資した。